

4年 道徳の年間指導計画例 (2020年休校措置対応)

- 年間35時間に配当された教材のうち、7教材を「学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材」としています。
- 「学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材」として、教科書内で同一内容項目について、2教材以上用意しているもののうち1教材を挙げました。ただし、教科書の構成上、特別の指導意図があるものについては、2教材以上用意している内容項目の教材であっても、「学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材」に含めていません。
- 「学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材」に該当する教材の欄は、水色 にしています。
- 「学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動」は、赤字で示しています。
- 各学校の状況によって、年度当初に予定していた学習内容の指導を、本年度中に終えることが困難な場合に、学校における学習活動を重点化する際の参考資料としてご活用ください。
- そのうえでなお、学習内容を年度内に終えることが困難な場合は、年度内に全ての内容項目を取り上げることを念頭に、次年度に送る等の対応も考えられます。
- 各学校の状況に応じて、適切にご判断ください。なお、次年度に送る場合には担当教員間の引継ぎにご配慮ください。

月	教材名〔主題名〕 内容項目(主・関連)	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例
4月	1. 貝がら 〔相手のことを理解する〕 【主】B 相互理解, 寛容 【関連】B 友情, 信頼	◎個の違いを認め、互いに理解し合うことで友好の輪を広げる。 【理解, 判断力】 自分と友達との違いを認め、理解し合うことの大切さが分かる。 【心情】 友達のよいところを見て、理解し合うことのよさに心が動く。 【実践意欲と態度】 相互に理解し合うことで、新しい友達をつくらうという意欲をもつ。	1 友達のことを知る方法を考える。 2 「貝がら」を読み、友達と理解し合うにはどうすればよいか考える。 3 新しい友達のことを知るにはどうすればよいかをまとめる。	○道徳の授業 ・「貝がら」を読んで、友達と理解し合うにはどうしたらよいか考えさせる。 ○学級活動 ・互いに認め合い、理解し合うクラスをつくらうという意識で活動させる。 ○帰りの会など 友達のよいところを見つけて紹介させる。
4月	2. みんなのためにできること 〔みんなのためにできること〕 【主】C 勤労, 公共の精神 【関連】C よりよい学校生活, 集団生活の充実	◎自分の役割と働くことの大切さを知り、みんなのために進んで働こうとする。 【理解, 判断力】 学校, 家庭, 地域社会のそれぞれの場で、自分の役割があることを理解する。 【心情】 働くことには、みんなのために役立つという喜びがあることに心が動く。 【実践意欲と態度】 働くことの大切さや尊さを知り、みんなのために働こうとする。	1 「みんなのためにできること」とは何かを考える。 2 「みんなのためにできること」を読み、進んで仕事をするということについて考える。 3 「みんなのためにできること」について考えたことをまとめる。	○日常生活 ・普段の生活の中で、みんなのために働いている人を見つけさせる。 ○道徳の授業 ・「みんなのためにできること」を読み、進んで仕事をすることのよさについて考えさせる。 ○学級活動 ・「みんなのためにできる」仕事を考えて、計画を立てて行い、思ったことを発表させる。 ・「みんなのためにできる」ことをしている友達を見つけて、発表させる。
4月	3. サッカーボール 〔強い心〕 【主】A 善悪の判断, 自律, 自由と責任 【関連】A 正直, 誠実	◎よいことや正しいと思うことは、自信をもって行おうとする。 【理解, 判断力】 強い心は、自分で正しいことをよく考えて判断したときにおいてくることが分かる。 【心情】 周りに流されず、自分が正しいと思ったことを実行するすばらしさを感じる。 【実践意欲と態度】 自分が正しいと思ったことを、自信をもって、強い意志で行おうとする。	1 善悪の判断について話し合う。 2 「サッカーボール」を読み、「強い心」について話し合う。 3 自分だったらどう行動するか考える。	○日常生活 ・悪いと分かってもやっちゃったり、正しいことができなかったりするときはどんなときか、意識して生活させる。 ○道徳の授業 ・「サッカーボール」を読み、「強い心」について話し合わせる。 ○朝の会・帰りの会 ・「強い心」で行動できたときのことをノートに記録させ、発表させる。 ・「強い心」で行動できている人を探して紹介させる。
5月	4. 十さいのプレゼント 〔美しいものに感動する〕 【主】D 感動, 畏敬の念 【関連】D 自然愛護	◎自然の美しさや偉大さに感動し、そのような心を大切にしようとする。 【理解, 判断力】 自然には、人間が創り出すことのできない美しさがあることを理解する。 【心情】 自然の美しさや偉大さ, 不思議さに心を動かす。 【実践意欲と態度】 自然の美しさや偉大さに感動できる心を大切にしようとする。	1 もらったらうれしいプレゼントを考える。 2 「十さいのプレゼント」を読み、自然の美しさについて考える。 3 自分の経験や教師の説話から、自然の美しさについて感じたことを共有する。	○道徳の授業 ・教師が、身近にある自然の美しさを探しておく。 ・「十さいのプレゼント」を読み、人間には創り出すことのできない自然の美しさについて考えさせる。 ○日常生活 ・自然の様子に目を向けて生活し、身近にある美しい自然を見つけて友達と紹介し合わせる。 ・自然の美しさを感じるができる写真や映像を探して、紹介し合わせる。 ○読書活動 ・自然の美しさや偉大さが紹介されている本を探し、友達と紹介し合わせる。
5月	5. さか上がり 〔このクラスでよかったな〕 【主】C よりよい学校生活, 集団生活の充実 【関連】A 希望と勇気, 努力と強い意志	◎教師や学校の人々が自分たちの成長を願って努力していることを知り、教師や学校の人々を敬愛し、自分とクラスをよりよい方向へと高めようとする。 【理解, 判断力】 教師や学校の人々がたくさんのことを知っていたり、いろいろなことができたするのは、自分たちの成長を願い、努力してくれていることが分かる。 【心情】 励まし合い、友達の成功を喜び合うクラスはよいクラスという思いに共感する。 【実践意欲と態度】 教師や学校の人々を敬愛し、よりよいクラスをつくるために自分にできることを考え、行動しようとする。	1 自分たちのクラスのもっているよさについて話し合う。 2 「さか上がり」を読み、みんなで協力して楽しいクラスをつくることの大切さについて話し合う。 3 自分たちのクラスをどうしたいかを考える。	○道徳の授業 ・「さか上がり」を読み、みんなで協力して楽しいクラスをつくることの大切さについて考えさせる。 ○日常生活・朝の活動 ・日常で目にした「クラスのよさ」をノートに記録させる。 ○朝の会・帰りの会 ・記録した「クラスのよさ」を朝の会や帰りの会などで発表させる。 ○学級活動 ・自分たちのクラスのよさや問題点を出し合い、よりよいクラスをつくるためにできることを話し合わせ、それを実際に行う計画を立て、実践させる。
5月	6. お母さんのせいきゅう書 〔お母さんの心〕 【主】C 家族愛, 家庭生活の充実 【関連】B 感謝	◎父母や祖父母を敬愛し、家族みんなで協力し合って楽しい家庭をつくらうとする。 【理解, 判断力】 家族が、家族のために慈しみの心をもって働き、尽くしてくれていることが分かる。 【心情】 家族のために働き、尽くす心のすばらしさやありがたさを感じる。 【実践意欲と態度】 家族の一員として家庭の生活で自分のできることをしようとする。	1 家族がしてくれたことで、うれしかったことを思い出す。 2 「お母さんのせいきゅう書」を読み、家族のために尽くす親の心について考える。 3 自分が家族のためにできることを考え、まとめる。	○道徳の授業 ・「お母さんのせいきゅう書」を読み、家族のために尽くす親の心について考えさせる。 ○家庭 ・父母、祖父母が家族のためにしてくれていることを調べさせたり、家庭外でどんな思いで仕事をしているのかインタビューしたりさせる。 ○日常生活 ・家で生活を振り返り、自分が家族のためにできることを考えて実践させる。

月	教材名〔主題名〕 内容項目(主・関連)	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例
5月	7. かさ 〔思いやりのリレー〕 【主】B 親切、思いやり 【関連】B 感謝	◎相手の心を思いやり、進んで親切にしようとする。 【理解、判断力】 親切にされるとうれしくなり、親切にすると自分も相手もうれしい気持ちになることが分かる。 【心情】 相手の心を思いやって親切にする人に対して、すばらしいあと心が動く。 【実践意欲と態度】 相手の心を思いやり、進んで親切にしようとする。	1 親切な人について話し合う。 2 「かさ」を読み、思いやり、親切について考える。 3 親切な人についてまとめる。	○道徳の授業 ・「かさ」を読み、思いやり、親切について考えさせる。 ○学級活動 ・親切にしたことで自分も相手もうれしくなった経験や、テレビや実際の生活の中で見つけた親切を紹介させる。 ○日常生活 ・相手の気持ちを思いやることを意識して生活するよう促す。 ○読書活動 ・読んだ本の中から思いやりの心を見つけて紹介し合わせる。
6月	8. ねがいをつみ上げた石橋 〔住まわちをほこりに思う心〕 【主】C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 【関連】C 勤労、公共の精神	◎郷土の文化財について理解し、郷土の文化財を大切に、引き継いでいこうとする。 【理解、判断力】 郷土の文化財が現在でも残され、大切にされている理由が分かる。 【心情】 郷土の文化財に込められた願いや、大切に守っていこうとする人々の心に共感する。 【実践意欲と態度】 郷土の文化財を大切に、それを引き継ぎ、伝えていこうとする。	1 自分たちが住むまちにある誇りに思うものについて話し合う。 2 「ねがいをつみ上げた石橋」を読み、郷土の文化財を守っていくことの大切さを考える。 3 文化財に込められた昔の人の願いについて話し合う。	○道徳の授業 ・「ねがいをつみ上げた石橋」を読み、郷土の文化財を守っていくことの大切さについて考えさせる。 ○社会科 ・郷土の学習や地域の文化財などの調査学習をさせ、その特色や残されている理由について発表させる。 ○総合的な学習の時間 ・地域の文化財保護に関わる人々の意識などを話題にし、子どもが課題をもって地域の文化財保護に参加する学習を設定する。 ・地域の文化財保護のために自分たちができることを考えさせる。
重点主題：きまりを守る心				
6月	9. どっちがいいか 〔みんなが気持ちよく〕 【主】C 規則の尊重 【関連】A 善悪の判断、自律、自由と責任	◎約束やきまりの意義を理解し、相手や周りのことを考えて、それらを守って生活しようとする。 【理解、判断力】 ルールが「何のため」「だれのため」にあるかを考え、きまりの意義を理解する。 【心情】 相手や周りのことを考えて、ルールを自ら進んで守るよさを感じる。 【実践意欲と態度】 相手や周りのことを考えて、ルールを自ら進んで守ろうとする。	1 ルールについて考える。 2 「どっちがいいか」を読み、ルールの意義や目的を話し合う。 3 学習したことと自分の生活を重ねて、みんなが気持ちよく暮らすためのルールを考える。	○学級活動 ・事前に一人ひとりが学級遊びのルール案を考え、計画とルールなどを決める話し合いをさせる。 ・学級遊びの後で、ルールなどについての感想をまとめさせる。 ○道徳の授業 ・「どっちがいいか」を読み、ルールの意義や目的を理解させる。 ○日常生活 ・身の回りには、「どのようなもの」が「何のため」にあるのかを、「みんなが気持ちよく」を視点に調べさせる。
6月	10. 自分たちができるエコ活動 〔きまりを守る〕 【主】C 規則の尊重 【関連】A 節度、節制	◎約束や社会のきまりの意義を理解し、それらを守って生活しようとする。 【理解、判断力】 きまりの意義が分かると共に、きまりを守るためには心が大切であることを理解する。 【心情】 きまりを守ることのでられる豊かで気持ちのよい生活のよさに共感する。 【実践意欲と態度】 きまりの意義を理解し、きまりを守ることのでられる生活のよさに共感したうえで、きまりを守ろうとする。	1 何のために、どのようなきまりがあるかを紹介し合う。 2 「自分たちができるエコ活動」を読み、きまりを守る意義を考える。 3 きまりの意義についてまとめる。	○日常生活 ・身の回りには、「どのようなもの」が「何のために」あるのかを調べさせる。 ○道徳の授業 ・「自分たちができるエコ活動」を読み、きまりを守る意義を考えさせる。 ○日常生活 ・身の回りのきまりの中で、守られているものとそうでないものについて、「時」、「場所」などの観点を提示し、調べさせる。 ○学級活動 ・きまりが守られていない原因や背景について考え、発表させる。
6月	11. わたしのゆめ 〔自分をかがやかせるために〕 【主】A 個性の伸長 【関連】A 希望と勇気、努力と強い意志	◎自分らしさに気づき、それを磨き上げて、自分を輝かせて生きていこうとする。 【理解、判断力】 自分を輝かせるものである「自分らしさ」をもっており、それを磨くことで自分を輝かせることにつながることに気づく。 【心情】 「自分らしさ」を磨き上げて輝かせようとするこのすばらしさに心を動かす。 【実践意欲と態度】 自分を輝かせて生きるために、「自分らしさ」を磨いていこうとする。	1 「自分らしさ」について考える。 2 「わたしのゆめ」を読み、夢と「自分らしさ」の関係について考える。 3 「自分らしさ」を伸ばすために、自分がやっていきたいことをまとめる。	○学級活動 ・「自分らしさ」や自分の夢を発表させる。 ○道徳の授業 ・「わたしのゆめ」を読み、夢と「自分らしさ」の関係について考えさせる。 ○読書活動 ・「自分らしく生きた」と感じられる人の本を探して読む活動を促す。 ○朝の会・帰りの会 ・読んだ本のあらすじや、感想、考えたことを発表させる。
7月	12. 良太のはんだん 〔公正な態度で〕 【主】C 公正、公平、社会正義 【関連】B 友情、信頼	◎だれに対しても分け隔てなく、公正・公平な態度で接していこうとする。 【理解、判断力】 相手によって態度を変えることなく、公正な判断をすることの大切さが分かる。 【心情】 自分や自分の仲間だけを優先することなく、だれにでも公正・公平に接する姿に心が動く。 【実践意欲と態度】 だれに対しても分け隔てなく、公正・公平な態度で接していこうとする。	1 クラスで取り組むときに大切なことを考える。 2 「良太のはんだん」を読み、みんなで何かに取り組むときに大切なことについて考える。 3 みんなで何かに取り組むときに、大切なことについて話し合う。	○道徳の授業 ・「良太のはんだん」を読み、みんなで何かに取り組むときに大切なことについて考えさせる。 ○朝の会・帰りの会 ・だれにでも同じ態度で接するよう心がけて生活するよう促し、実際にそれができたときの気持ちを発表し合わせる。 ○家庭 ・だれにでも同じ態度で接することについて、家族で話し合わせる。
7月	13. 早起きは三文の徳 〔時間の使い方〕 【主】A 節度、節制 【関連】C 規則の尊重	◎時間の使い方をよく考えて行動することの大切さが分かり、節度ある生活をしようとする。 【理解、判断力】 時間の使い方を考えて生活することの大切さが分かる。 【心情】 時間を有効に使うことで、自分の生活がよりよくなることに気づき、時間を大切にしたいという思いをもつ。 【実践意欲と態度】 時間の使い方を意識して生活しようという意欲をもつ。	1 早起きのよさについて考える。 2 「早起きは三文の徳」を読み、節度をもって生活することのよさを考える。 3 節度ある生活のよさをまとめる。	○道徳の授業 ・「早起きは三文の徳」を読み、節度をもって生活することのよさを考えさせる。 ○日常生活 ・道徳の授業での学びを生かして、規則正しい生活をするよう促す。 ○家庭 ・どうすれば規則正しい生活を送れるか、家族と話し合わせる。 ○朝の会・帰りの会・学級活動 ・自分の生活の様子を定期的に振り返らせ、それを振り返りシートなどの掲示物とすることで、常に規則正しい生活を意識するよう促す。

月	教材名〔主題名〕 内容項目(主・関連)	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例
9月	14. ゲームのやくそく 〔友だちをしんじる〕 【主】B 友情, 信頼 【関連】B 相互理解, 寛容	◎相手のことを理解しようと努力することで、友情や信頼を深め、よりよい友達関係をつくっていかうとする。 【理解, 判断力】 相手の気持ちになって考えることが、よりよい友達関係をつくるために大切であると分かる。 【心情】 相手の気持ちになって考えることで、友達の痛みや苦しみなどの気持ちに共感する。 【実践意欲と態度】 友達と理解し合おうとすることで、よりよい友達関係をつくっていかうとする。	1 友達との約束について考える。 2 「ゲームのやくそく」を読み、よりよい友達関係について考える。 3 よりよい友達関係を築くために大切なことをまとめる。	○道徳の授業 ・「ゲームのやくそく」を読み、よりよい友達関係について考えさせる。 ○日常生活 ・相手の立場に立って考えたり、互いに理解し合ったりして、よりよい友達関係をつくろうとする態度で生活させる。 ・友情について書かれた本を探して読んで紹介し合ったり、感想を言い合ったりさせる。
9月	15. 石油列車, 東北へ向かって走れ! 〔生活をささえてくれている人たち〕 【主】B 感謝 【関連】C 勤労, 公共の精神	◎家族など自分たちの生活を支えている人々に対し、尊敬の念をもち感謝する。 【理解, 判断力】 自分たちの生活は、働く人々のたゆまぬ努力によって支えられていることが分かる。 【心情】 自分たちの生活を支えるために働いている人々の思いを知り、心が動く。 【実践意欲と態度】 人々の生活を支えるために働いている人々に対し、感謝の気持ちをもって接しようとする。	1 私たちの生活を支えてくれている人について考える。 2 「石油列車, 東北へ向かって走れ!」を読み、人々の生活を支えてくれている人について話し合う。 3 自分たちの周りで生活を支えてくれている人について話し合う。	○道徳の授業 ・「石油列車, 東北へ向かって走れ!」を読んで、自分たちの生活を支えてくれている人について話し合わせる。 ○学級活動 ・生活を支えてくれている人について調べて、感謝の気持ちを伝える方法について考え、話し合わせる。 ○家庭 ・家族で仕事について話し合わせ、私たちの身の回りで、生活を支えている人々について考えさせる。
9月	16. ぼくはMVP 〔正直に生きる〕 【主】A 正直, 誠実 【関連】A 善悪の判断, 自律, 自由と責任	◎自分に不利になることでも、自分を偽らないで正直に行動しようとする。 【理解, 判断力】 過ちや失敗はだれにでもあるが、それをごまかすことで後悔や自責の念につながる事が分かる。 【心情】 過ちや失敗をごまかさずに正直に行動することで、自分も周りも気持ちよく生活できると感じる。 【実践意欲と態度】 自分を偽らずに正直に行動し、豊かな人間関係を築いていかうとする。	1 「正直」とはどのようなことか考える。 2 「ぼくはMVP」を読み、正直に生活することのよさについて考える。 3 「正直」について学んだことをまとめる。	○道徳の授業 ・「ぼくはMVP」を読み、正直に生活することのよさについて考えさせる。 ○帰りの会 ・自分の一日を振り返り、自分の行動にうそやごまかしがなかったかを振り返らせる。 ○家庭 ・正直に生活することのよさについて家庭で話し合わせ、話し合った内容をノートに記述させる。 ○学級活動 ・「正直に生きる」とは、どのような生き方なのか、話し合わせる。
9月	17. 学級新聞作り 〔広い心をもって〕 【主】B 相互理解, 寛容 【関連】C よりよい学校生活, 集団生活の充実	◎広い心を持ち、相手のことを理解し、自分と異なる意見も大切にしようとする。 【理解, 判断力】 相手の考えには、自分の考えにないよさがあることが分かる。 【心情】 相手の考えに耳を傾け聞き入れる心と、その心によって築かれる関係のよさに心が動く。 【実践意欲と態度】 広い心を持ち、自分と異なる意見も大切にしようとする。	1 教科書の冒頭の問いかけを読み、他の人と一緒によりよいものを作るために大切なことについて考え、ノートに書く。 2 「学級新聞作り」を、気になったところに線を引きながら読む。 3 異なる意見を大切にすることについて考える。 ④P.81・82の問いかけを読み、「わたし」と黒羽さんの考え方を比べながら、よりよい学級新聞を作るためにどうすればよいか考え、ノートに書く。 4 「まとめる」を読み、異なる意見の相手に対してどのように接することで、みんなでよりよいものを作ることができるか、自分の考えをまとめる。	○道徳の学習 ・「学級新聞作り」を読み、異なる意見を大切にすることについて考えさせる。 ○特別活動 ・班や係、話し合い活動などにおいて、互いの意見をしっかりと聞き合い、友達の考えのよさに気づけるよう進め方をくふうさせる。 ○日常生活 ・子どもどうし、または子どもと教師が互いの考えや意見を交換し合う機会を設定し、異なる考えや意見を大切にすることのよさを実感させる。
10月	18. 心の体温計 〔度がすぎないために〕 【主】A 節度, 節制 【関連】A 善悪の判断, 自律, 自由と責任	◎節度ある生活のためにはどのようなくふうをすればよいかを考え、進んで実行しようとする。 【理解, 判断力】 人に言われなくても、自分の理性によってコントロールしなければならないことがあることに気づく。 【心情】 節度ある生活を送ることで、すっきりした気持ちで毎日が過ごせることのよさに共感する。 【実践意欲と態度】 節度ある生活のくふうを考え、進んで実行しようとする。	1 「度が過ぎる」ということについて考える。 2 「心の体温計」を読み、節度のある生活について話し合う。 3 「心の体温計」をもった生活について、具体的にくふうを考える。	○道徳の授業 ・「心の体温計」を読み、節度のある生活について話し合わせる。 ○日常生活 ・道徳の授業で考えた、「度が過ぎない」ためのくふうをクラスに掲示して意識させ、実行させる。 ○朝の会・帰りの会・学級活動 ・実行できているかを定期的に振り返らせる。
10月	19. せきが空いているのに 〔本当の思いやり〕 【主】B 親切, 思いやり 【関連】A 善悪の判断, 自律, 自由と責任	◎相手の気持ちや考えを思いやることの大切さが分かり、だれに対しても進んで親切にしようとする。 【理解, 判断力】 本当の親切とは、何かをしてあげるのではなく、相手の立場に立ってその人の気持ちを大切にしながら支えることだと分かる。 【心情】 本当の親切をすると、互いの心が明るくなっていいなあという思いをもつ。 【実践意欲と態度】 自分も相手の立場や気持ちを考えて、だれに対しても進んで親切にしようとする。	1 教科書の冒頭の問いかけを読み、「人に親切にする」とはどのようなことか、考えたことをノートに書く。 2 「せきが空いているのに」を、気になったところに線を引きながら読む。 3 親切について考える。 ④P.90～91の問いかけを読み、つえを持っている人とのやり取りの中から、本当の思いやりとはどのようなことかを考えてノートに書く。 4 「まとめる」を読み、思いやりの心をもつことでできることを考え、ノートにまとめる。	○道徳の学習 ・「せきが空いているのに」を読み、親切について考えさせる。 ○日常生活 ・自分にできる思いやりのある親切な行動を考えて、実際に行わせる。 ○総合的な学習の時間 ・高齢者施設・障害者施設の方や、保育園・幼稚園・低学年の子どもたちと思いやりの心をもって交流する機会を設ける。 ○帰りの会 ・相手の立場に立って、自分にできる思いやりのある親切な行動を考えて、実際に行い、相手に喜ばれたり、自分もうれしくなったりしたことを紹介させる。
10月	20. ブラジルからの転入生 〔よい友だちになるために〕 【主】B 友情, 信頼 【関連】C 公正, 公平, 社会正義	◎友達のよさを見つけ、友達と理解し合い、信頼関係を築いていこうとする。 【理解, 判断力】 人にはそれぞれもち味があり、それを理解することでよりよい友達関係を築くことができることが分かる。 【心情】 互いのよさを認め合うことで、友達との仲が深まっていく姿に感動する。 【実践意欲と態度】 友達のよい面に目を向けようとする心をもって生活していこうとする。	1 教科書の冒頭の問いかけを読み、よい友達になるためのひけつについて考えてノートに書く。 2 「ブラジルからの転入生」を、気になったところに線を引きながら読む。 3 よい友達になるためのひけつについて話し合う。 ④P.94・95の問いかけを読み、「ぼく」のセルシオ君を「好きになってきた」「よい友だちになれそう」と変わってきた理由を考え、ノートに書く。 4 「まとめる」を読み、よい友達になるためのひけつは何なのか考えたことをノートにまとめる。	○道徳の学習 ・「ブラジルからの転入生」を読み、よい友達になるためのひけつについて話し合わせる。 ○日常生活 ・友達のよいところを見つけようという課題に取り組みさせる。 ○朝の会・帰りの会・学級活動 ・見つけた友達のよいところを発表させる。

月	教材名〔主題名〕 内容項目(主・関連)	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例
10月	21. みかん出し 〔進んではたらく〕 【主】C 勤労、公共の精神 【関連】C 家族愛、家庭生活の充実	◎自らの力をみんなのために生かすことができるという仕事のよさが分かり、人のために進んで働こうとする。 【理解、判断力】 働くことで自らの力を人のために生かすことができ、自分の喜びや達成感につながる事が分かる。 【心情】 自らくふうして働くことで、自分の力を十分に発揮でき、喜びが大きくなることのよさに心が動く。 【実践意欲と態度】 自分のため、人のために進んで仕事をし、くふうして取り組んでいこうとする。	1 教科書の冒頭の問いかけを読み、仕事をするときの気持ちを思い出してノートに書く。 2 「みかん出し」を、気になったところに線を引ながら読む。 3 進んで働くことのよさについて考える。 ◎P. 98・99の問いかけを読み、順子さんの「仕事」に対する気持ちがどのように変わったかと、その中で気づいた「仕事」のよさについて考え。ノートに書く。 4 「まとめる」を読み、進んで働くことのよさについて考えたことをノートにまとめる。	○日常生活 ・学校の自分の仕事や家庭の手伝いを通して、感じたことや考えたことをまとめさせる。 ○道徳の学習 ・「みかん出し」を読み、進んで働くことのよさについて考えさせる。 ○日常生活 ・学校や家庭での仕事の仕方を見直し、自ら進んで、くふうしながら仕事に取り組ませる。 ○朝の会・帰りの会 ・自ら進んで、くふうしながら仕事をするを通して、感じたことや気づいたことを発表させる。
11月	22. 雨のバスでいりゅう所で 〔社会のきまり〕 【主】C 規則の尊重 【関連】A 善悪の判断、自律、自由と責任	◎周りの人のことを考えてルールやマナーを守ることの大切さを理解し、それらを守ろうとする。 【理解、判断力】 周りの人たちのことを考えて、ルールやマナーを守ることの大切さが分かる。 【心情】 ルールやマナーを守ることのよさに共感し、心を動かす。 【実践意欲と態度】 みんなが気持ちよく生活するために、ルールやマナーを守ろうとする。	1 ルールは何のためにあるのかを考える。 2 「雨のバスでいりゅう所で」を読み、ルールやマナーが何のためにあるのか話し合う。 3 身の回りにあるルールやマナーを守らなければならない理由をまとめる。	○道徳の授業 ・「雨のバスでいりゅう所で」を読み、ルールやマナーが何のためにあるのかを話し合わせる。 ○家庭 ・自分の住んでいる地域にあるルールやマナーを調べさせる。 ○学級活動 ・社会のきまりを守ると、社会としてどのようなよいことがあるか話し合わせる。 ○朝の会・帰りの会 ・調べたことを紹介させる。
11月	23. せいっぱい生きる 〔せいっぱい生きる〕 【主】D 生命の尊さ 【関連】A 希望と勇気、努力と強い意志	◎尊い生命をもって、今生きていることのありがたさが分かり、自らの生命を輝かせ、せいっぱい生きていこうとする。 【理解、判断力】 かけがえない生命をもって、今生きていることのありがたさが分かる。 【心情】 自他の幸せに向かって、自らの生命を輝かせてせいっぱい生きている姿に感動する。 【実践意欲と態度】 自他の幸せに向かって、自らの生命を輝かせてせいっぱい生きようとする意欲をもつ。	1 せいっぱい生きることについて話し合う。 2 「せいっぱい生きる」を読み、生命の尊さと「せいっぱい生きる」ことの意味について考える。 3 「せいっぱい生きる」ということについて、自分の考えをまとめる。	○道徳の授業 ・「せいっぱい生きる」を読んで、生命の尊さと「せいっぱい生きる」ということについて考えさせる。 ○国語科・朝の学習 ・学んだことを生かして「命の詩」を書き、友達と伝え合わせる。 ○家庭との連携 ・家族と自分の生まれたときのことや、名前の由来について話し合わせ、「せいっぱい生きる」ということについて考えさせる。 ○読書活動 ・生命の尊さや「せいっぱい生きる」に関する書籍を読ませ、「せいっぱい生きる」ということについて考えさせる。
11月	24. 鳥にのこしたかきの実 〔動物といっしょに生きる〕 【主】D 自然愛護 【関連】D 生命の尊さ	◎自然の動物も人間と同じように生きていることが分かり、動物を大切にしていこうとする。 【理解、判断力】 動物も人間と同じように、物を食べたり、息をしたりして生きていることが分かる。 【心情】 動物も人間と同じように生きていることが分かり、動物を大切に、共に生きようとする生き方に心を動かす。 【実践意欲と態度】 自然の動物を大切に、共に生きるための人々のくふうを知り、自分たちも動物と共に生きようとする。	1 自然の中の動物について考える。 2 「鳥にのこしたかきの実」を読み、人間と動物が共生することについて考える。 3 動物と共に生きるということについてまとめる。	○道徳の授業 ・「鳥にのこしたかきの実」を読み、人間と動物が共生することについて考えさせる。 ○理科 ・植物が実をつけた後の様子と、動物との関わりについて調べさせる。 ○日常生活 ・身近な動物や植物に興味をもち、人間が自然の中の動物と共に生きている様子を調べる活動を促す。
重点主題：みんなのために何ができるか				
11月	25. 「祭り日」 〔重なり合うように〕 【主】B 友情、信頼 【関連】C よりよい学校生活、集団生活の充実	◎協力の意義を知り、共通の目的をもって、心を重ね合わせて力を発揮しようとする。 【理解、判断力】 協力には、共通の目的意識や、バランスよく持ち味を発揮させて助け合うことが大切であると分かる。 【心情】 協力によって目標に近づくことのすばらしさに心が動く。 【実践意欲と態度】 目標に向かって互いに心を重ね合わせて、力を発揮しようとする。	1 「心を一つにする」ことについて考える。 2 「『祭り日』」を読み、「心を一つにする」ことについて考える。 3 協力するときに大切なことを話し合う。 4 「心を一つにする」ことについて、具体的な取り組みを考える。	○道徳の授業 ・「祭り日」を読み、「心を一つにする」ことについて考えさせる。 ○音楽科 ・「協力」や「心を一つにする」ことについて学習したことを意識して、合唱や合奏に取り組ませる。 ○学級活動 ・活動した結果を友達どうして話し合わせる。
12月	26. 十六番目の代表選手 〔心を一つに〕 【主】B 友情、信頼 【関連】C よりよい学校生活、集団生活の充実	◎協力には直接的・物理的な協力だけでなく、間接的・精神的な支えによる協力もあることを知り、応援や励ましを進んで実践しようとする。 【理解、判断力】 協力には直接的・物理的な協力だけでなく、間接的・精神的な協力もあることを知る。 【心情】 直接的・物理的な協力だけでなく、間接的・精神的な協力によって支えられ、ものごとを成し遂げられるよさに心を動かす。 【実践意欲と態度】 自分も応援や励ましといった間接的・精神的な協力を進んで実践しようとする。	1 教科書の冒頭の問いかけを読み、「よいチーム」について考えたことをノートに書く。 2 「十六番目の代表選手」を、気になったところに線を引ながら読む。 3 間接的・精神的な協力について考える。 ◎P. 119～121の問いかけを読み、内藤選手とグラウンドの選手たちの心が通い合っていたのはなぜか、考えたことをノートに書く。 4 「まとめる」を読み、よいチームとはどのようなチームかについて、考えたことをまとめる。	○道徳の学習 ・「十六番目の代表選手」を読み、間接的・精神的な協力について考えさせる。 ○体育 ・チームでの競技の際、どのような協力の仕方がよいかを考え、生かすように促す。 ○日常生活 ・身近に、内藤選手のように人やチームを支えてくれる人がいないか探す。
12月	27. ノーベル賞の生みの親 アルフレッド・ノーベル 〔やりとげる心と力〕 【主】A 希望と勇気、努力と強い意志 【関連】C 勤労、公共の精神	◎あきらめずに探求し続けることで何かを成し遂げることができる力があることに気づき、目標に向かって努力しようという意欲をもつ。 【理解、判断力】 何度も失敗とくふうを繰り返すことでものごとを成し遂げることが自分にもあり、それが自分を伸ばす大事な力であることが分かる。 【心情】 目標に向けて絶えず努力することのすばらしさに心が動く。 【実践意欲と態度】 自分には何ができるのか、何がしたいのかを考え、それに向かって努力しようという意欲をもつ。	1 「頑張る力」について考える。 2 「ノーベル賞の生みの親アルフレッド・ノーベル」を読み、努力のよさについて考える。 3 頑張るということについて、考えたことをまとめる。	○道徳の授業 ・「ノーベル賞の生みの親アルフレッド・ノーベル」を読み、努力のよさについて考えさせる。 ○学級活動 ・自分がこれから頑張っていきたいことを話し合い、目標とそれに向かう活動計画をカードなどに書き込ませ、いつでも見られるように掲示する。 ○総合的な学習の時間 ・自分の目標を決め、それを達成するための活動を行い、定期的に振り返らせる。

月	教材名〔主題名〕 内容項目(主・関連)	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例
1月	28. えがおの花大作戦 〔明るく楽しいクラス・学校づくり〕 【主】C よりよい学校生活、集団生活の充実 【関連】C 勤労、公共の精神	◎先生や学校の人々を敬愛し、みんなで仲よく協力し合っ て、明るく楽しいクラスや学校をつくらうとする。 【理解、判断力】 明るく楽しいクラスや学校をつくらうとする気持ちをもち、自 分にできることを一人ひとりが考え、進んで行動することの 大切さが分かる。 【心情】 明るく楽しいクラスや学校をつくらうとする気持ちをもち、自 分にできることを一人ひとりが考え、進んで行動することの よさを感じる。 【実践意欲と態度】 明るく楽しいクラスや学校をつくるために、自分にでき ることを進んで行おうとする。	1 明るく楽しいクラス・学校について話し合う。 2 「えがおの花大作戦」を読み、明るく楽しいクラス・ 学校をつくるために大切なことを考える。 3 明るく楽しいクラス・学校をつくるために大切なこ とをまとめる。	○道徳の授業 ・「えがおの花大作戦」を読み、明るく楽しいクラス・ 学校をつくるために大切なことを考えさせる。 ○学級活動 ・自分たちが、明るく楽しいクラス・学校をつくるた めの活動（「笑顔の花大作戦」）を考えて、行わせる。 ○帰りの会 ・明るく楽しいクラスをつくるための活動をしている友達を見 つけて発表させる。
1月	29. 百羽のつる 〔本当の美しさ〕 【主】D 感動、畏敬の念 【関連】B 親切、思いやり	◎美しく気高いものに感動する心を大切に、より豊かに 深めていこうとする。 【理解、判断力】 目に見える色彩や、形の美しさだけでなく、人の心や生き 物の行動を含めた目に見えないものの気高さを理解する。 【心情】 人の心や生き物の行動を含めた目に見えないものの気高 さに心を動かす。 【実践意欲と態度】 自分にも美しいものや気高いものに感動する心があるこ とに気づき、その心を大切に、豊かに深めていこうと する。	1 「美しいもの」とは何かを考える。 2 「百羽のつる」を読み、「美しいもの」にはどんなも のがあるのか考える。 3 「美しいもの」にはどんなものがあるかを改めて考 える。	○道徳の授業 ・「百羽のつる」を読み、「美しいもの」にはどんなも のがあるのか考えさせる。 ○読書活動 ・「百羽のつる」と同じ「美しいもの」が書かれた本を 探して読ませ、友達と本の内容を紹介し合ったり、感想 を交流させたりする。 ○朝の会・帰りの会 ・普段の生活の中で、「美しいもの」を見つけたら記録 するよう呼びかけておき、見つけたものを友達に紹介さ せる。
2月	30. ぼくの生まれた日 ドラえもんー 〔生まれた日のこと〕 【主】C 家族愛、家庭生活の充 実 【関連】D 生命の尊さ	◎自分が誕生したときの家族の喜びを知り、これからの 生活で家族を喜ばせて生きていこうとする。 【理解、判断力】 子どもの誕生や成長は、家族にとってかけがえのない喜 びであることが分かる。 【心情】 家族がもつ愛情のありがたさや願いの温かさに心が動 く。 【実践意欲と態度】 家族の愛情や願いに応え、家族を喜ばせて生きていこう とする。	1 家族のよさを考える。 2 「ぼくの生まれた日ードラえもんー」を読み、家族の よさについて考える。 3 保護者からの手紙を読み、自分が生まれたときの願 いを知り、感想を発表する。	○家庭 ・家の人に授業の趣旨を説明し、子どもに対する思いや 願いを手紙に書いてもらう。 ○道徳の授業 ・「ぼくの生まれた日ードラえもんー」を読み、家族の よさについて考えさせる。 ○学級活動 ・自分が生まれたときの様子を、家の人にインタビュー してまとめ、それを友達と交流して感想を伝え合わせ る。 ○総合的な学習の時間 ・「2分の1成人式」を成功させる過程の中で、今までの 自分を振り返らせ、これからの生き方について考えさせ る。
2月	31. 図書館で 〔見えないきまり〕 【主】C 規則の尊重 【関連】C よりよい学校生活、 集団生活の充実	◎社会には見えないきまりがあることを知り、その意義 を理解し、きまりを守って生活しようとする。 【理解、判断力】 社会にはみんなが気持ちよく生活するために、見えない きまりがあることを理解する。 【心情】 見えないきまりがあることで、心が落ち着き、他者と信 頼し合えるよさに共感する。 【実践意欲と態度】 みんなが気持ちよく生活するために、見えないきまりを 守ろうとする。	1 教科書の冒頭の問いかけを読み、「見えないきまり 」とは何か、考えたことをノートに書く。 2 「図書館で」を、気になったところに線を引ながら 読む。 3 「見えないきまり」の意味やよさについて考える。 ○P.142の問いかけを読み、中央図書館と学校の図書館 の違いを考え、中央図書館がなぜ静かなのかを考えて ノートに書く。 4 「まとめる」を読み、「見えないきまり」にはどのよ うなよさがあるかノートにまとめる。	○道徳の学習 ・「図書館で」を読み、「見えないきまり」の意味やよ さについて考えさせる。 ○家庭・地域社会 ・家庭における「きまり」や、地域における交通・環境 保全・地域行事などにおける「きまり」について調べ、 まとめさせる。 ○学級活動 ・調べたきまりの中に「見えないきまり」があるかを確 かめ、新聞などにまとめて発表させる。
2月	32. お礼の手紙 〔気持ちをつたえるためのかたち〕 【主】B 礼儀 【関連】B 感謝	◎礼儀の大切さを知り、だれに対しても真心をもって接 しようとする。 【理解、判断力】 相手のことを思って、相手に応じて、真心を込めた礼を それぞれに合う形で尽くすことの大切さが分かる。 【心情】 相手に応じて、真心を込めた礼をそれぞれに合う形で尽 くすことで、自分の気持ちがより伝わることを感じ取る。 【実践意欲と態度】 相手に真心をもって接し、相手の立場や気持ちに応じた 行動をしようとする。	1 相手による手紙の書き方の違いについて考える。 2 「お礼の手紙」を読み、礼儀正しくすることのよさ について考える。 3 手紙を書くときに大切なことについてまとめる。	○道徳の授業 ・「お礼の手紙」を読んで、礼儀正しくすることのよさ について考えさせる。 ○学級活動 ・自分たちの身の回りで、支えてくれる人にはどんな人 がいるかを話し合わせ、その人たちがどんなことをして いるかを調べ、調べた人に向けて手紙を書かせる。 ○国語科 ・普段会わない人や世話になった人、感謝の気持ちを伝 えたい人に手紙を書かせる。
2月	33. さくらのかけ橋 〔国をこえてつなげる心〕 【主】C 国際理解、国際親善 【関連】D 伝統と文化の尊重、 国や郷土を愛する態度	◎他国の人々や文化に親しみ、関心をもつ。 【理解、判断力】 他国には、その国独自の文化があることを知る。 【心情】 他国の文化は、自国の文化と同じように大切であることを 知り、心が動く。 【実践意欲と態度】 他国の文化に親しみをもって、それらを尊重しようとし る。	1 自分たちの知っている国について考える。 2 「さくらのかけ橋」を読んで、他国の文化のよさや、 他国とのつながりについて考える。 3 他国と日本について、考えたことをまとめる。	○外国語活動・総合的な学習の時間 ・他国の文化や国際的な行事について調べて紹介させ る。 ○道徳の授業 ・「さくらのかけ橋」を読み、他国の文化のよさや、他 国とのつながりについて考えさせる。 ○総合的な学習の時間 ・他国やその国と日本とのつながりについて調べて、 ノートにまとめ、発表させる。
重点主題：みんなの命				
3月	34. レスキュー隊 〔命をすくう〕 【主】D 生命の尊さ 【関連】C 勤労、公共の精神	◎生命の重さが分かり、生命を大切に生きていこう とする。 【理解、判断力】 自らの生命を危険にさらしても救わねばならぬほど、生 命は重いものであると分かる。 【心情】 生命を救う仕事に当たる人の情熱や、それほどの情熱を かける生命の重さに感動する。 【実践意欲と態度】 自他の生命を大切に生きていこうとする。	1 生命をかけて人を救うことについて考える。 2 「レスキュー隊」を読み、生命の重さについて考 える。 3 生命の価値について話し合う。 4 生命を大切に生きる生き方についてまとめる。	○道徳の授業 ・「レスキュー隊」を読み、生命の重さについて考 えさせる。 ○社会科 ・生命を救う仕事について調べさせ、その仕事内容や仕 事に携わる人々の思いなどをノートにまとめさせる。 ○読書活動 ・生命を救うことに関する本を読み、生命の重さにつ いて考えさせる。
3月	35. 五百人からもらった命 〔命の大切さ〕 【主】D 生命の尊さ 【関連】B 親切、思いやり	◎生命の尊さが分かり、生命を大切に生きていこう とする。 【理解、判断力】 多くの人が助けたいと願わずにはいられないほど、生 命は尊いものであると分かる。 【心情】 生命を助けたいと願う人々の気持ちのつながりや、生命 がたくさんの命に支えられていることが分かり、心が動 く。 【実践意欲と態度】 尊い生命を大切に、生きていこうとする。	1 教科書の冒頭の問いかけを読み、生命について考 えたことをノートに書く。 2 「五百人からもらった命」を、気になったところに線 を引きながら読む。 3 生命の尊さについて考える。 ○P.156～157の問いかけを読み、一人の命のために、 見ず知らずの人たちが行動できたのはなぜかについて 考え、ノートに書く。 4 「まとめる」を読み、生命の尊さについて考えたこ とをノートにまとめる。	○日常生活 ・生命を救う仕事について調べさせ、その仕事内容や仕 事に携わる人々の思いなどをノートにまとめさせる。 ○道徳の学習 ・「五百人からもらった命」を読み、生命の尊さにつ いて考えさせる。 ○学級活動・総合的な学習の時間 ・自分たちが、これから生命を大切に生きていくた めにできることを考えさせる。

月	教材名〔主題名〕 内容項目(主・関連)	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例
付録	36. 心にブレーキ 〔心にブレーキ〕 【主】A 善悪の判断, 自律, 自由と責任 【関連】C 規則の尊重	◎してよいこととしてはいけないことを自分で判断し, 正しいと思っことは自信をもって行おうとする。 【理解, 判断力】 自分の楽しさだけではなく, 周りの人のことを考えて, してよいこととしてはいけないことを自分で判断して, 実行することが大切だと分かる。 【心情】 してよいこととしてはいけないことを自分で判断して, 実行することのよさを感じる。 【実践意欲と態度】 周りの人のことを考えて, 自分が正しいと判断したことを自信をもって行おうとする。	1 普段の自分たちの生活を振り返る。 2 「心にブレーキ」を読み, してよいこととしてはいけないことについて考える。 3 自分の弱さに負けないために大切なことを考える。	○朝の会 ・いけないと分かっているのに, ついやってしまうことにはどんなことがあるか聞く。 ○道徳の授業 ・「心にブレーキ」を読み, してよいこととしてはいけないことについて考えさせる。 ○日常生活 ・自分の弱さに負けないためにはどうすればよいか, 考えたことを実行させる。 ○帰りの会 ・してよいこととしてはいけないことを, 自分で考えて判断し, 実行できている人を発表させる。
付録	37. とべ! ペットボトルロケット 【自分のゆめをもつ】 【主】A 希望と勇気, 努力と強い意志 【関連】B 友情, 信頼	◎自分で決めた夢や希望, 目標に向かって, 強い意志をもち, 粘り強く努力しようとする。 【理解, 判断力】 夢や希望, 目標をもつことのよさに気づき, それを達成するためには強い意志と粘り強い取り組みが必要であることを知る。 【心情】 強い意志をもって粘り強く取り組むことで, 自分を高められることに心が動く。 【実践意欲と態度】 自分で決めた夢や希望, 目標に向かって, 強い意志をもって, 粘り強く努力しようとする。	1 自分の夢や希望について考える。 2 「とべ! ペットボトルロケット」を読み, 夢や希望, 目標をもち, それに向かって努力することについて考える。 3 夢や希望, 目標をもって努力することのよさをまとめる。	○道徳の授業 ・「とべ! ペットボトルロケット」を読み, 夢や希望, 目標をもち, それに向かって努力することについて考えさせる。 ○総合的な学習の時間 ・自分の夢や目標をノートに書き, それをどのように達成するか具体的な取り組みを考え, 友達どうして紹介させる。 ○特別活動 ・目標をもって学校行事や学年行事などに取り組みせ, 振り返らせる。
付録	38. ぼうや, 生きていてくれよ 〔かんしゃの心〕 【主】B 感謝 【関連】D 生命の尊さ	◎自分はいろいろな人に支えられていることを知り, それらの人々に尊敬と感謝の念をもって生活しようとする。 【理解, 判断力】 自分たちの生活を支えるために, 人々の生活を支えることに喜びや生きがいを感じながら, たくさんの人が昼夜を問わず働いていることが分かる。 【心情】 危険を顧みず, 命を救った人の行為や心のすばらしさを感じる。 【実践意欲と態度】 自分たちを支えてくれている人々の行為や心に尊敬の念を抱き, 感謝して生活しようとする。	1 消防士の気持ちを想像し, 尊敬と感謝の念について話し合う。 2 「ぼうや, 生きていてくれよ」を読み, 生活を支えてくれている人の思いについて考える。 3 身の回りで人々を支えるために働いている人について話し合う。 4 働く人たちに対する考えをまとめる。	○社会科 ・「人々の仕事とわたしたちの暮らし」について学習させ, 消防士の仕事内容や思いを理解させる。 ○道徳の授業 ・「ぼうや, 生きていてくれよ」を読み, 生活を支えてくれている人への感謝の念について考えさせる。 ○総合的な学習の時間 ・身の回りで働いている人の考えや思いについて調べて発表させたり, 調べた人たちに手紙を書かせたりする。
付録	39. かつおぶし 〔身近にある伝統文化〕 【主】C 伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度 【関連】C 家族愛, 家庭生活の充実	◎郷土の伝統や文化に込められた多くの人々の知恵や思いを知り, それを大切に, 親しみをもって関わろうとする。 【理解, 判断力】 郷土の伝統や文化に込められた, 多くの人々の知恵や思いとそのよさを知る。 【心情】 郷土の伝統や文化には, 多くの人々の知恵や思いが詰まっていることに心が動く。 【実践意欲と態度】 郷土の伝統や文化を大切に, 親しみをもって関わろうとする。	1 身近にある伝統や文化について考える。 2 「かつおぶし」を読み, 伝統や文化と, そこにあるよさについて考える。 3 身近にある伝統や文化のよさをまとめる。	○社会科・総合的な学習の時間 ・地域の行事や伝統的な行事などについての学習をまとめさせる。 ○道徳の授業 ・「かつおぶし」を読み, 郷土の伝統や文化と, そこにあるよさについて考えさせる。 ○地域 ・地域に昔から伝わるものにどのようなものがあるかを調べて, ノートにまとめさせる。 ○学級活動 ・調べてまとめた地域に伝わるものと, そのよさを発表させる。
付録	40. 元気がいちばん 〔生きる力〕 【主】D 生命の尊さ 【関連】C 家族愛, 家庭生活の充実	◎生命のもつ強い生きる力やそれを支えるものが分かり, 自らも生きる力を発揮し, 一生懸命生きていこうとする。 【理解, 判断力】 生命には, 困難や逆境にも負けない強い生きる力があり, それは多くの人に支えられていることが分かる。 【心情】 生命のもつ生きる力のすばらしさや, 多くの人に支えられている生命の尊さに心が動く。 【実践意欲と態度】 自分のもつ生きる力を発揮して, 一生懸命生きていこうとする。	1 人の成長について考える。 2 「元気がいちばん」を読み, 生きる力について話し合う。 3 自分の生命の生きる力について考える。 4 命を大切にする生き方について, 自分の考えをまとめる。	○道徳の授業 ・「元気がいちばん」を読み, 生命のもつ生きる力について考えさせる。 ○日常生活 ・生きる力を使って元気に生きている人を探させたり, 調べさせたりして, ノートにまとめさせる。 ○家庭 ・自分の生まれてから今までの成長について, 家族と話し合わせ, 生きる力について考えさせる。 ○読書活動 ・生命の力強さや不思議さに関する本を読ませ, 生きる力について考えさせる。